

郵政博物館 POSTAL MUSEUM



台北館

高雄館

台中館

郵政博物館について

郵政博物館は中華郵政会社が事業の発展に合わせて郵便事業への理解を深めるため、1965年に新店・獅頭路で設立されました。翌年(1966年)3月20日に開館しましたが、1984年に台北市中正区へ移転しました。以来、新たな拠点として公開を続け、展示内容も一層充実しています。

約100万枚に及ぶ切手コレクション(うち約8万枚を展示)と6,000点を超える郵便資料(うち歴史的価値の高い100余点を公開)を所蔵する当館では、2階から5階を常設展示エリアとし、切手や資料の静態展示のみならず、マルチメディア映像やシミュレーション体験、知育ゲームといったインタラクティブな設備を完備しています。また、6階の特別展示室は切手収集や芸術文化の企画展会場として活用され、7階の図書室では膨大な郵便専門資料や一般図書の閲覧・貸出サービスを提供しています。さらに、10階の会議室・講堂および2階の視聴覚室は、外部への貸出施設として広く一般に開放しています。

また、所蔵資料の活用と文化発信を目的に、2015年に台北・北門郵便局2階、2021年に高雄・駅前ビル2階、2024年に台中・民権路郵便局3階に、それぞれ台北館・高雄館・台中館を開館しました。地域の郵便局と協力し、郵政文化の普及や観光振興を図るとともに、郵政イメージの向上にも努めています。



2F クラシック郵博

「中華郵政大事紀要」から展示が始まり、貴重な切手・封筒や郵政資料を通して郵便の歴史をたどることができます。

「異素材切手」や「第一号切手」では、切手の美しさと知的な魅力を味わえるほか、「修復と保存」での成果展示や、郵便配達員体験・移動郵便車などの体験型コーナーも用意されています。

大清郵筒

大清郵便

3F 郵政の歴史

「郵便配達」を軸に、「古代郵制」「近代郵政」「軍郵」「郵便配達の旅」などの展示エリアを設け、周・秦時代からの郵制や近代郵政の創設と発展、軍郵の意義と貢献を紹介しています。

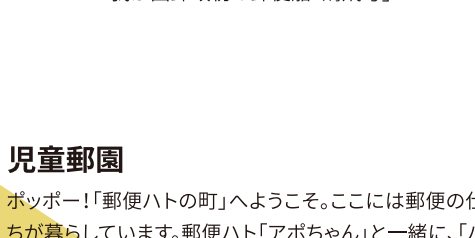
運送具や郵便ポスト、郵政機器に加え、円形シアターでは、映像「伝える思い」により、収集から配達までの流れと職員の使命感を体感できます。



レトロなセル郵便ブース



民国初期の郵便配達車

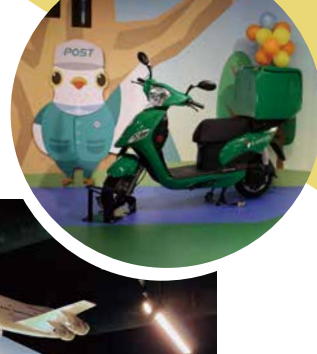


我が国郵政初の郵便船「鴻飛号」



4F 児童郵園

ポッポー!「郵便ハトの町」へようこそ。ここには郵便の仕事をするハトたちが暮らしています。郵便ハト「アボちゃん」と一緒に、「ハトママの悩みごと」、「郵便ハトの町 郵便局」、「宋大ハトの緊急ミッション」、そして、不思議な「郵便物処理センター」など、どれもワクワクするコーナーばかり、探検に出かけよう! それから、「森の教室」では、楽しいお話会もありますよ! さあ、Let's go!



5F 切手の世界

入口では、わが国切手の祖「大龍票」のレリーフがお出迎え。「世界切手展示室」には約78,000枚のコレクションが引き出し式ケースで展示され、世界初の切手「ペニー・ブラック」も公開されています。

「国内切手展示エリア」では、台湾の歴史・文化・風俗・自然をテーマにした切手を紹介するほか、「珍しい切手」、「切手収集入門」、「収集用品」、「印刷過程」のコーナーや、切手と一緒に楽しめるデジタル体験コーナーも設けられています。



6F 企画展示室

国の記念行事や民俗行事、新切手の発行、そして芸術文化をテーマとする特別展を、不定期に開催しています。

また、政府機関や地方自治体、芸術文化団体、切手収集クラブの協力による展示も行ってあり、展示のない期間は会場の貸出も受け付けています。



当期特別展は公式サイトへ

奇幻星空 Fantasy Starry Sky 郵票展

Fantasy Starry Sky Philatelic Exhibition 郵票展

展覽地點：5樓郵票世界展區



OH my god! IT'S full of stars!

